

教科書展示会意見提出結果

- 1 教科書 展示会場・期間
 中央図書館 令和6年6月14日（金）から6月30日（日）まで
 午前9時から午後8時30分まで（休館日を除く）

緑ヶ丘・深大寺分館 令和6年6月14日（金）から6月30日（日）まで
 午前9時から午後5時まで（休館日を除く）

2 意見提出数

	意見提出人数	意見数
中央図書館	21 人	27 件
緑ヶ丘分館	3 人	3 件
深大寺分館	7 人	18 件
郵便・持参	1 人	1 件
Eメール	2 人	9 件
専用フォーム	3 人	4 件
FAX	2 人	2 件
合計	39 人	64 件

3 教科別内訳

教科	意見数
全般	7 件
国語	2 件
書写	1 件
歴史	28 件
公民	9 件
地理	0 件
地図	0 件
数学	1 件
理科	1 件
音楽	1 件
美術	2 件
保健体育	2 件
技術	0 件
家庭	4 件
英語	1 件
道徳	5 件
合計	64 件

4 意見の内容

別紙のとおり

令和7年度に使用する調布市立中学校教科用図書に関する意見等 (※原文のまま表記)

No	教科名	学年	教科書会社	意見
1	その他			教育におけるデジタル化の流れはますます加速しています。教科書においても同様です。タブレットを活用した学習が増えていますが、デジタルと紙の教科書が子ども達の脳へ与える影響についてのいろいろな言われています。しかし、生まれたときからスマホなど電子機器に慣れ親しんでいる子ども達の脳へ、実際にどのような影響があるのか今後の研究を見なければならぬでしょう。問題は、教科書にますます増えてきている二次元コードなど、検定の効果がどこまで発揮できるのか疑問ですし、いずれ検定そのものが追いつかなくなる可能性があることです。このような状況を見据えて今後の教科書のあり方を根本から考えるための意見交換会、研究会などを立ち上げてはどうでしょうか。地方自治体のそれぞれの教育委員会には、独自の取り組みがあつてしかるべきです。まずは当事者である子ども達の意見を聞くこと、そして現場の教員を中心にした継続した研究会などの立ち上げに、市教育委員会が積極的に関わって下さることを望みます。
2	その他			今回検定合格した中学校教科書については、一般しんぶん報道で、教科書の多くの頁に印刷されたQRコードがかなり増えたことが大きな話題とされている。たしかにQRコードからウェブサイトへ接続すれば、瞬時に大量の情報を入手でき、それを学習に利用すれば便利であることは否定できない。だが学習や思考のための資料の探索を自身の考えにもとづいて行うのではなく、外部に依存する傾向が生まれてしまうことにならないかが器具される。とくに年少期からその方法に慣らされた場合、主体的に学習に取り組む主体性が育つのか疑問である。例えば社会科の場合、遠く離れた場所で起こった事実についての情報を電子データによって広く収集することは必要だが、同時に現地で実物にふれ観察すること、現実社会の中で生活し体験を重ねている人に出会い直接話を聞くことが、学ぶ意欲をかきたて、深い認識につながるこれがこれまでの授業研究で報告されている。便利さにひかれQRコードの多さを採択の基準にしかねない向きもあるようだが、QRコードの使い方については教育のあり方の問題として広く学校現場の意見を聞き、QRコードの多寡を単純に採択の基準にするのではなく、教育現場の意見もふまえた総合的判断で採択を決めるようお願いしたい。
3	その他		大日本図書 東京書籍	大日本図書、東京書籍は不正を行ったというニュースを見ている。 そのような会社の教科書を仮に使うのであれば、教育委員会に不信感がつのる。 子どもたちのことを考えても、不正のあった会社で作る教科書を使うのはふさわしくないだろう。
4	その他			QRコードが多すぎる教科書は本紙の内容に不足があるのではないかと不安になる。デジタルデトックスの側面からも紙の教科書だけで十分に学べると良い。
5	その他			<ul style="list-style-type: none"> • 全体的にページ数が多く、勉強嫌いの子が増えないか心配です。 • ジェンダー平等や性の多様性、多様な家族のあり方を扱う教科書が増えたことはとても良いと思う。 • 子どもと一緒に教科書を使う教職員と保護者、市民の意見を聞き、選んでほしい。
6	その他			<ul style="list-style-type: none"> • 教科書採択にあたっては、実際に使って子どもたちと授業をする先生たちの声をしっかりと聞いてほしい • QRコンテンツが増えていますが、子どもたちのリアルな疑問から出発して考える子を育てるためにもQRコンテンツにたよらない方がいいと思います。QRコンテンツの多さで教科書を選ぶことのないようにお願いします。
7	その他			光村図書はさくらももこさんやヨシタケシンスケさんなど、子供が知っている作家が載っていて良いと思いました。 歴史は資料の豊富さなど、山川一択だと感じました。 特に歴史科目は慎重に選んで頂ければと思います。
8	国語	2	光村図書	『走れメロス』の目標を拝見したところ、「作品の魅力を捉える」とありました。他の作品の目標も作品を味わうことを目的としているものがほとんどでした。学校の国語学習では作品の魅力に気付いて終わりにするのではなく、読解力などがきちんと身に付くものが適切ではないか。
9	国語		全社	かつての国語教科書が作品中心の作品集であったのに比べ、昨今の教科書が、編集意図や教科書の取扱い方に、冒頭多くのページを割き、作品の読み方を指示し、誘導する編集の仕方は客社ほぼ共通し、読書も生徒の自由に任せるのではなく、その方法を助言、指示しているのに驚かされます。これで主体的で、深い学びが育つのでしょうか？教室での先生と生徒による作品との初心の出会い、そこから生まれる感動、驚き、発見、内省、思索が教室を動かし、生徒が互いの力を発見し認め合い、そこに先生の様々なアドバイスが入って、作品を読み深めることで言語能力が獲得されると思います。そういった意味で、中学生にふさわしい、刺激的な作品がより多く収められている教科書を選んでいただけるように願っております。
10	書写		教育出版	文字文化についてのコラムがとても興味深かったです。世界には3000-8000の言語があるといわれています（学説により変わります）。その内独自の文字をもつものは400程。日本語はその内の1つなのです。 現在東京外国語大学に通っているため言語に関心があります。 日本語を文字という視点から中学生に親しみをもって頂けたら素晴らしいと思いました。

令和7年度に使用する調布市立中学校教科用図書に関する意見等 (※原文のまま表記)

No	教科名	学年	教科書会社	意見
11	歴史		令和書籍	社会科歴史的分野の学習指導要領は日本と世界の歴史を学ぶことになっており、書名がそもそも不適切である。取り上げている歴史資料は全体として中学生の学習にとって不適切なものが多く、資料の選択が偏っている。 いわゆる「慰安婦」問題に関しては、日本軍が女性を戦地で連れ回ったことはないなどと事実と反し、かつ河野官房長官談話の趣旨にも反する記述を行っており、対外的にも政府の見解として確立してきたことや、検定基準における近隣諸国条項を有名無実化するものであり、このような教科書を採択しないよう求める。
12	歴史		育鵬社	沖縄戦の悲劇の特徴的なものとして、いわゆる「集団自決」がある。このことについて、2007年の検定において、日本軍の命令が大きな要因としてそれまで各教科書に記述されてきたところ、日本軍の命令あるいは関与を示す記述の全面削除を命じた検定が行われ、これに対し、沖縄県民の大多数が事実を新平するものだと大きな抗議がおこり、結果として、検定を一部修正し、日本軍の関与した事実の記述を認めることになった。しかるに、育鵬社版は、今なお日本軍の関与を認めない記述に徹している。これは事実を曲げるものであり、教科書として許されない。よって育鵬社版の採択をしないことを求める。
13	歴史		自由社	沖縄戦の悲劇の特徴的なものとして、いわゆる「集団自決」がある。このことについて、2007年の検定において、日本軍の命令が大きな要因としてそれまで各教科書に記述されてきたところ、日本軍の命令あるいは関与を示す記述の全面削除を命じた検定が行われ、これに対し、沖縄県民の大多数が事実を新平するものだと大きな抗議がおこり、結果として、検定を一部修正し、日本軍の関与した事実の記述を認めることになった。しかるに、育鵬社版は、今なお日本軍の関与を認めない記述に徹している。これは事実を曲げるものであり、教科書として許されない。よって育鵬社版の採択をしないことを求める。
14	歴史		学び舎	この教科書は、節のタイトルが具体的で生徒の興味を引くよう工夫されている。各項目の記述も最新の歴史研究の成果を取り込み、現代の課題とも結びつけながら、常に歴史を学ぶことの意味を考えを及ぼしつつ、歴史の内容を深く学ぶことができる。他の教科書に見られない特徴をいくつかあげれば、敗戦後の朝鮮と日本との関係、戦後補償問題、沖縄返還の際の核密約問題など、今後の日本とアジアとの関係を考えるうえで重要な歴史事実をつっこんでとりあげている。よって、学び舎版の採択を推奨したい。
15	歴史		育鵬社 令和書籍	社会状況をどちら側から見るかで同じ事象でも理解はちがってくると思うが、歴史上興きた事実は、正しく伝える必要があると思います。第二次世界大戦についての記述は疑問に思うことが目につきます。育鵬社・自由社・令和書籍の「韓国併合」「慰安婦」「沖縄戦」「アジア諸国と日本軍」の項目には事実と食い違うところがあるように思います。検定に通った教科書ではあるのですが、通るがための教科書づくりを感じます。他の教科も現場は、実践するにあたり苦戦することと思います。(単元が多い)
16	歴史		自由社	自由社以外の教科書は、日本は他国を侵略し植民地にして収奪と虐殺の限りをつくした悪い国である(うその歴史)を記述している。子供達に自分の国を愛しほこりを持って将来に希望が持てる教科書を採用してほしい。
17	歴史		育鵬社 自由社	太平洋戦争を大東亜戦争と副題をつけているのは問題。歴史学の最新の成果を反映してほしい。 育鵬社、自由社の教科書は戦争の事実を正確に伝えず戦争を賛美している様な書き方をしています。絶対採択しないでください。
18	歴史		学び舎	見開き2ページで学習課題がまとめられていて良い 図版が多く使用されていて、図版を見る事を通して様々な気づきが出て来て学習が深められると思う 文書が簡潔にまとめられていてわかりやすい。歴史の表にいる人物だけでなく、その裏にいた人々の生活・様子・考えなどがとりあげられていて、歴史を立体的に見る事ができる良い学びができると思う。 表の歴史だけでなく、様々な事象がとりあげられていて歴史への興味がわくと思う。 欠食児童と学校給食P217、消えた東京オリンピックP223 こういうことを言うと警察に捕まった、特高月報よりP233 その他様々…… 学びへの意欲がかりたてられる教科書だと思います
19	歴史		令和書籍	天皇の記述が多い 戦前の記述がくわしい一方で日本国憲法に戦争の反省など国民の運動などの記述がない。 以上、天皇を中心とした歴史がくわしいのに対し民衆・国民の運動が少なく、片寄った印象を受ける。 教科書に採用することは、問題多く、反対である。
20	歴史		育鵬社	太平洋戦争の記述で「アジアの国々を欧米による植民地支配から解放」とあるが日本もアジア諸国を植民地化しており「解放」とは言えない。 日本がアジア諸国でたくさんの人々を殺した事実をきちんと伝えてその反省からでしか国際平和は作れないと思うのでこういう教科書で子どもに教えることには反対する。

令和7年度に使用する調布市立中学校教科用図書に関する意見等 (※原文のまま表記)

No	教科名	学年	教科書会社	意見
21	歴史		自由社	<ul style="list-style-type: none"> ・戦争の書き方が賛美しているように思います。そして「太平洋戦争」を「大東亜戦争」とあえて書いているのが気になります。 ・戦後の「岸信介」の評価が賛否ある中でかなり大きく評価されているのが気になる。 この教科書は事実と異なることが多く、真実をきちんと伝えていないので、採択はさけて下さい。
22	歴史		自由社	学習指導要領で「歴史教育の目標」として「我が国の歴史に対する愛情、国民としての自覚」が謳われています。この点で自由社の教科書は、唯一歴代天皇の系図が書かれています。日本の国柄を子供達にきっちりおしえており、自由社の教科書が、学習指導要領に最も適合していると思います。是非この教科書を、採用頂きたいと思います、実態と異なった嘘で日本を貶める教科書の記述には心からの憤りを感じます。子供達に嘘を教えるは絶対にいけません。自由社の教科書を採用頂きますよう、心よりお願い申し上げます。
23	歴史		学び舎	大正時代に東京都とその周辺を襲った関東大震災に起こった「混乱の中で朝鮮人が攻めてくる」とのデマが飛び交い、その結果、軍隊・警察・住民が作った自警団により、沢山の朝鮮人・中国人・日本人が殺された事件を取り上げているのがよかったです。これから東京都でも首都直下型地震が起こることが想定されています。災害は被災者を不安にさせ疑心暗鬼が心を蝕みます。再びこのような虐殺事件が起こるかもしれません。子どもたちに学びを通して日本の負の歴史を知り、教訓とすることが必要不可欠です。
24	歴史		育鵬社	育鵬社は憲法改正が当然かのような記述があり問題です。採択しないでください。
25	歴史		自由社	”皇紀”についての解説や昭和天皇についての記述があり、日本本来の良さを一番知ることができる教科書だと思った。
26	歴史		自由社	今、子供達の中で起きてきている様々な問題、いじめる、いじめられる、不登校、無気力等は子供達の自己肯定感が低いからだだと思います。「故郷を忘れた日本人へ」(仁平千香子著、啓文社書房)によると自己肯定感を構築するには先祖とつながっている意識と帰属感が必要とあります。日本は悪いことをしたと子供達に教えるのは子供達の御先祖様を悪く言うのと同じこと、教師が生徒にあなた方の先祖は悪人だと言うのは教育者としていかがなものでしょうか。事実が大事というのならその事実に対して反論があることは教える必要はないのでしょうか。又、そのような悪いことをしていない国はあるのでしょうか。 自由社の社会・歴史を推す理由 この本の「歴史を学ぶとは」には『御先祖が生きた歴史、先祖はたゆまぬ努力をして安全で豊かな日本を築いてきたこと、それぞれの時代に先祖が直面した問題を知り自分のこととして考える』とあります。単に事実を覚えるだけでなくその背後にある願いや苦しみがわかり未来に対して知恵と勇気がわいてくる本であり、子供達の自己肯定感を高めるためにも一番良いと思います。
27	歴史		育鵬社	<ul style="list-style-type: none"> ・戦争の事実を広く正確に伝えてほしい。 ・採択にあたり、先生と保護者、子供がどこに興味をもち知りたいのかをつかみ子どもの意見も大事にとりあげてほしい。 ・震災の日本史では、ボランティアの姿が描かれていないのが少し残念です。大きな被害ほど人の助けが必要だ。
28	歴史		日本文教出版	日本文教出版の『中学社会歴史的分野』が最適だと思いました。第2章の戦争の記述で多摩地域の戦争遺跡の照会、資料も多く、勉強しやすいと思いました。
29	歴史		東京書籍	P.121「アイヌ」の改行位置が差別的。教科書としてふさわしくない。 もう一点気になったのは「チェック」が本文からの抜き出しばかり。思考を伴う活動ができないのではないだろうか。
30	歴史		令和書籍	この教科書の課題として冒頭に書かれていることが本教科書出版の意図と思われる。既に何か所か錯誤があります。「大和國家はその後諸外国の影響を受けながら、古代國家の最終形態である律令國家に発展し…」律令國家の形成は、「諸外国」などというあいまいなものでなく、中国、とりわけ唐の律令体制を基にしていることは、『日本書紀』『続日本紀』律令の解説書である『令集解』を読んでも明かです。またここでいう王朝交代がなかったことを強調することに、どういう意味があるのでしょうか。統治範囲も、地勢、地形も、國家形成も異なる国々のそれぞれの事情を学び現代を考えることこそ歴史を学ぶ意義だと思います。王朝交代なき皇統譜(それも学説により異論あります)をあげそれを軸に歴史を学ばせるのは、独善的な一國主義を助長する以外のなにものでもありません。今の中学生が大人になって社会を支える頃には、グローバル化はさらに進み、他の民族、他の国への歴史理解が必要となるでしょう。お山の大將吾一人的な閉ざされた歴史観に基いた教科書を子どもたちに手渡したくありません。

令和7年度に使用する調布市立中学校教科用図書に関する意見等 (※原文のまま表記)

No	教科名	学年	教科書会社	意見
31	歴史		育鵬社	歴史は何のために学ぶのでしょうか。昨今の過熱した受験体制、偏差値による学校評価が前面に出る中で、ある程度受験を意識するのは、やむを得ないのかもしれませんが。それでも歴史を学ぶ基本は、生徒たちが今生きているこの時代がなぜこのようになっているのか、これからの時代を生きる上で歴史はどんな教訓を与えてくれるのかを、生徒の問題意識に即して応えてくれる教科書が秀れていると思います。文化史中心、政治体制とその担い手の交替を知識として知っても受験の役に立っても、これからを生きる生徒の生きる力にはならないでしょう。生徒たちの大半は国や、社会、そして世界を支える担い手として、様々な分野で、働く人達です。その意味で、歴史の中でも各時代の基盤を支えた働く人達が、どんな境遇にいて、どのように目覚めていったかを伝える記述が欲しいものです。又昨今ジェンダー視点による歴史の解明も進んでいます。各時代の女性がどのように社会(時代)を支えたかも生徒たちに勇気を与えるでしょう。育鵬社の教科書には上記の視点が欠けているように思いました。又、現代に直結している沖縄戦の記述は、軍がいかにか県民を思いやっていたか、県民がいかにか(自主的に)協力して戦ったかの視点で語られ、集団自決を強制されたり、投降を恥とする教育など今につながる沖縄の犠牲を正当に伝えていないと思われません。教育委員の方々の良識ある採択を期待します。
32	歴史		育鵬社 自由社	<ul style="list-style-type: none"> ・太平洋戦争(大東亜戦争)あるいは大東亜戦争(太平洋戦争)などと記述し、アジアを開放するための戦争と説明している。 ・他国と日本の憲法改正の件数を比較し、憲法改正が必要だと誘導しているように思える。 他社は憲法の基本原理をくつがえすような「憲法改正は許されない」と記述している。 <ul style="list-style-type: none"> ・戦争の事実を正確に伝えず、賛美しているような書き方をしている教科書は採択しないで下さい
33	歴史		令和書籍	<ul style="list-style-type: none"> ・小さな字で500頁以上あり、学習しきれない。 ・「2800人以上の特攻隊員が散華しました。」とか「沖縄攻防戦では中学生から高校生の男女2300人以上が志願で学徒隊に編入」と書くなど、戦争賛美の記述が目立つ ・慰安婦問題について河野談話に真っ向から反対する記述がある。 ・戦争の事実を正確に伝えてない。 採択しないでください。
34	歴史		育鵬社	<ul style="list-style-type: none"> ・アジアの国々を欧米による植民地支配から解放し…など事実と違う書き方をし戦争を賛美しているように思う。 ・沖縄戦に関して「中学生や女学生で戦いに従軍して命を落とした人々や戦闘がはげしくなる中で逃げ場を失い集団自決に追い込まれた人々もいました。」など日本軍の関与がかかれていない。戦争を賛美する傾向があり絶対に採択してはいけない教科書の一冊だ。
35	歴史		自由社	育鵬社と同様に戦争の真実を伝えず戦争を賛美さえている書き方です。絶対に採択しないでください。
36	歴史		令和書籍	「検定未了」だったものが検定に合格したことに驚きました。戦前の国定教科書にそった時代錯誤で問題の多い教科書です。日本軍「慰安婦」問題に関する歴史の否定を始め事実と異なる誤った記述がたくさんあります。絶対に採択しないでください。
37	歴史		育鵬社 学び舎 令和書籍 自由社	学びしやは、身近な子どもや女性の暮らしから、時代、政治へと展開して、歴史への関心をもたせる工夫がされている。現在進行中のウクライナ・パレスチナの戦争を考えさせるためにも、選んでほしいです。

令和7年度に使用する調布市立中学校教科用図書に関する意見等 (※原文のまま表記)

No	教科名	学年	教科書会社	意見
38	歴史 公民 地理		自由社	<p>展示されている教科書は、2, 3の教科書(歴史に関する)を除いて、どれも日本を悪く記述していると感じた。何んでこんなにも自国のことを悪く書くのか、理解に苦しむ。事実を記述するのならまだしも、ありもしないデタラメをさもあったかのように記述するのは、とんでもない事である。例えば、朝鮮併合を、日本が武力で併合したかのように記述している。これは事実と反する事で、朝鮮人が併合を望んだのだ。当時の朝鮮は混乱しており、統治能力がなかったため、当時のリーダーは日本に頼るしかなかったのだ。武力で併合したなどと、嘘八百もいところだ。この事は証明されており、証拠もある。こういう嘘を書く教科書会社は、ちゃんと検証したのだろうか。単に今は左翼思想に世の中は支配されているので、日本を悪く書く方が売れるからなのだろうと思う。どこの国でも、自国を悪く記述する国は世界には、日本以外にない。教科書というものは、次代を担う子供達に、日本を誇りに思うものでなければならない。</p> <p>以上の観点から自由社の教科書が最適であると思います。</p>
39	公民		育鵬社	<p>この教科書は、日本国憲法を述べるにあたって、現憲法を否定的にみる考え方に基づく記述が目立つ。国民主権を語るさいにむしろ天皇に関する記述のほうがはるかに大きいスペースをあてている。また、基本的人権の説明では、むしろ公共の福祉による制限のほうに大きいスペースをあてている。平和主義を語るさいには、むしろ自衛隊に大きなスペースをあて、自衛隊と日米安保条約については、様々な議論があるにもかかわらず、全面的に現在の体制を肯定する記述を行っている。特に問題なのは、憲法改正について述べる頁で、憲法改正を推進する場民党のポスターのみを図版に掲げており、教育における政治的中立を犯す内容となっている。よってこの教科書は採用しないことを求める。</p>
40	公民		自由社	<p>この教科書は、日本国憲法を述べるにあたって、現憲法を否定的にみる考え方に基づく記述が目立つ。国民主権を語るさいにむしろ天皇に関する記述のほうがはるかに大きいスペースをあてている。また、基本的人権の説明では、むしろ公共の福祉による制限のほうに大きいスペースをあてている。平和主義を語るさいには、むしろ自衛隊に大きなスペースをあて、自衛隊と日米安保条約については、様々な議論があるにもかかわらず、全面的に現在の体制を肯定する記述を行っている。その点では違った意見の存在をほとんど取り上げず、一方の考え方を押しつける役割をはたすことになる。よって自由社版教科書は不適切なので採択しないことを求める。</p>
41	公民		帝国書院	<p>憲法改正の問題については、他社版もいろいろな角度から説明しているが、帝国書院版は、憲法学の到達点を重視し、「憲法96条の定める手続きは、憲法をゼロから創設したり、破壊したりする手続きではなく、……現在の憲法の基本原理を受け継いだものでなければなりません」、「国民主権の原理の変更、再び戦争を引き起こす国になること……などの憲法改正は許されないと解釈されています」と憲法改正の限界を指摘している。また、憲法尊重擁護義務を負う者に国民は含まれていないことを指摘し、権力の濫用を防ぐことが憲法の本質であることを理解させようとしている。このような指摘は他社教科書には明確にされていない。このような本質論に立脚して公民の内容を展開している点で、帝国書院を推奨したい。</p>
42	公民		日本文教出版	<p>右ページの上のところにアクティビティというコーナーが多くあり、中学生が自分ごととして考えられる工夫がありよいと思った。こういうことをしていくと社会に出たときに役に立つことがあると思う。</p> <p>また、この会社にだけ点字に触れることができるページがあり、多様性の時代にとっても大切なことと思う。</p> <p>そのきっかけづくりにもこの教科書を使ってほしい。</p>
43	公民			どの会社の教科書も内容が多く記述も難しそうです。
44	公民		育鵬社	<p>例えば74～75ページの「憲法のこれから」のように憲法改正に導くような書き方は許せない</p> <p>また天皇の写真が多すぎると思う。</p> <p>「主権在民」「平和主義」「基本的人権の尊重」にそってない。</p> <p>絶対に採択してほしいくない一冊である</p>
45	公民		自由社	<p>日本国憲法の成立に関して「GHQの民政局で新憲法案がひそかに英文で作成され～」P58など、事実と違う表記があり、憲法改正に子どもたちを導こうとしている書き方である。</p> <p>「天皇のお仕事」P68などでていねいに説明しているが、「主権在民」についてくわしく書くべきではないか</p> <p>絶対に採択してはいけない一冊である</p>
46	公民		育鵬社	憲法とは国民が権力を監視するものだと教えて下さい。天皇・改正手続きにかたよつている育鵬社を選ばないで下さい。

令和7年度に使用する調布市立中学校教科用図書に関する意見等 (※原文のまま表記)

No	教科名	学年	教科書会社	意見
47	公民		全社	<p>ウクライナやガザの戦争の悲惨な様子は、テレビなどのメディアを通して子どもたちにも伝えられています。恐怖感を覚える子もいると思います。戦争や平和の実現について教科書はどのように書かれているのでしょうか。どの教科書にも小タイトルとして「平和な世界に向けて」「兵器の脅威と軍縮の意義」などと同様な言葉が並んでいましたが、教科書によってかなりの違いを感じました。</p> <p>東京書籍(P204~5)…戦争を防ぐ、または規模を小さくするためには、軍縮が必要です。…一度に多くの人々の命をうばったり、悲惨な被害をもたらしたりする核兵器や化学兵器、生物兵器などの廃絶が重要です。…戦争を無くしていくためには貧困や差別などの社会問題の根本的な解決が必要です。</p> <p>帝国書院(P194~5)…兵器はひとたび使われれば多くの人を苦しめます。…軍縮は武力紛争の防止につながるだけでなく、紛争が発生した場合の被害を少なくすることにもつながるため、国連と各国にはその削減に向けた努力が求められています。</p> <p>育鵬社(P194~5)…国連や国際機関、さらに各国の外交を通して、世界平和の実現に向けて大きな役割を担うことが内外から期待されています。湾岸戦争での日本の多国籍軍への多額の資金提供…海上自衛隊の掃海部隊がヘルジャ湾に…自衛隊がカンボジアに派遣…多国籍軍への後方支援…平和安全法制が成立し、「駆け付け警護」も可能</p> <p>自由社(P196~7)…中国、ロシアなど近隣諸国は核配備を進め、北朝鮮も核実験を行うなど、わが国にとっては脅威は増えています。</p> <p>教育出版(P208~9)…世界には南アフリカ共和国など、核兵器を放棄した国もあります。北朝鮮による核開発と核の保有の放棄に対しては、外交交渉によって平和的に説得していく必要があります。…イランに対しても最大限の外交努力を行い核兵器の開発を防ぐことが必要です。</p> <p>日本文教出版(P206~7)…原子爆弾がいかに言語を絶する参加であるかを知る私たちは、人類を核兵器の脅威から解放することを強く訴えなければなりません…軍縮を国際社会にはたらきかけ、武力紛争を防止し、また、紛争後の社会の債権を支援することで世界平和の基盤をきずく役割が求められます。</p> <p>平和の実現に向けて、東京書籍、帝国書院、日本文教出版は軍縮の重要性を明記しています。育鵬社は自衛隊の活躍を並べていますが、多国籍軍への参加を進め、闘うことが当然のように読まれそうです。この教科書は子どもたちに使わせてはならないと思います。</p> <p>東京書籍は戦争の原因となることについても書かれています。平和な社会を築く人になってほしいと願い、公民の教科書は、東京書籍、帝国書院、日本文教出版、教育出版から選出して下さい。</p>
48	数学		啓林館 数研出版	<p>どの教科書も日常生活と結びつけて数学的に活動させること、問題を解くことによって基本の定着が図られ段階を追って学習できる工夫があると思いました。必要に応じてQRコードを読みとることで授業だけではなく家庭学習にも便利だと思いました。</p> <p>今使用している啓林館と過去に使用されたことのある数研出版を見比べてみましたが、数研出版は生徒、先生の対話例やカンガルーのようなキャラクターの吹き出しを読むことによって授業で学んだことを後で復習する読み返す際にもふりかえりやすいと思いました。巻末の中学0学年のまとめでは算数、前の学年での学んだことを学んでいるので既習したとあわせて確認しやすいと思いました。</p>
49	理科		教育出版	<p>大日本図書は違反のため改訂なし。他よりもやはり古い印象。この教科書をわざわざ選ぶ理由はない。</p> <p>そこで、全教科書を比較。教育出版社を推薦。</p> <p>1年142ページ。観察の服装、持ち物について書いてあり良い。</p> <p>「学習前の私」「学習後の私」で生徒が成長を感じられる。</p>
50	音楽	全学年	教育芸術社	<p>巻頭の学習内容の表で、思考力・表現力・判断力の全てに等しく関連させられている。当然のことなので表として必要があるのか考えさせられる。創作が難しく将来教える時に苦労しそう。音楽教育には適していない教科書だと思う。</p>
51	美術			<p>美術の教科書は読む教科書ではなく、美で感じる教科書だと思います。見やすく必要以上の情報が多くなく、感動したり制作したいと思わせるそんな教科書を望みます。</p>
52	美術		日本文教出版	<p>見やすい、参考になる作品、つくりたくなる作品あり ただ、毎年配布するには高いだろうな</p>
53	保健体育	1~3	東京書籍	<p>1. 保健所の役割について説明不足があります。設置主体はどこかを明記すること。仕事内容について対人サービスに関する仕事が脱落していると思います。感染症の項目にハンセン氏病(らい)について脱落しています。</p> <p>2. 健康を守る社会の取組-大人は健康診断をどこで受けているかの説明の個所で労働基準法にもとづく労働0生について欠落しています。自分の身体を自分で守る基本的知識について加筆してください。</p>
54	保健体育		全社	<p>保健体育の教科書に摂食障害についての内容を早急にのせる必要があります。中学生のダイエットによる拒食症の死亡者が増えています。患者数が増加し病院にもかかることのできない(半年まち)状態。 早期発見早期治療につなげるためにも知識をもつ必要があります。</p>

令和7年度に使用する調布市立中学校教科用図書に関する意見等 (※原文のまま表記)

No	教科名	学年	教科書会社	意見
55	家庭	1～3	開隆堂	現実をよく見るという点で(持続可能な衣食住をめざしての項でP172-P175)良い学習ができると思う。又、ジェンダーを正面からとりあげている点が良い。多様な家族関係ということでヤングケアラー、赤ちゃんポスト、里親など現実の姿をとりあげ考えさせようとしているのは良い
56	家庭		開隆堂	生きていく上で「自立」する力をつけ「共生」「介助」によって人間関係を作っていくということを提示していて良い教科書だと思います。中学生である子どもに、即時に経済的自立を求めるのは無理ですが、なぜこの家庭で自分は暮らしているのか(扶養されるのか、親から指示されるのか)を知り考えさせるのにP24-37の法律制度・手続きを学ばせる必要があります。P239の間取りの家に無職であろう祖母が同居するという設定は「ガマンし合う」「誰かがガマンする」暮らし方に誘導し兼ねず、賛成できません。がP256以降の「持続可能な住生活」は成人してからの住・環境への関心を培う良いページだと思います。
57	家庭		東京書籍	「家族・家庭・家庭生活」において、成員の協力・分担が大切なことが繰返して記されているのは良いと思いますが、家族を規定している法律・制度を具体的に教えて欲しいと思います。「扶養義務・親権・親族・姻族」という中学生が自分がなぜこの人々と共に住み暮しているのかの説明なしに情緒的に心がけを説くのは不十分です。住まいについてP171の「戸建て」「集合」の図はわかり易いけれど「新たに一人加わったら」「5年後は」を扶養される立場の中学生に問いかけるのは現実的ではないと思います。
58	家庭		開隆堂	家族の多様性について、赤ちゃんポストやヤングケアラーまでとり上げてるのに、LGBTにふれていないのは残念
59	英語		三省堂	表紙イラスト鼻がない
60	道徳	1	日本文教出版	道徳の授業で学習することは色々あると思いますが「いじめを許さない」ということはしっかりと取り上げてほしいと思います。その点で日本文教出版は多くのページを割いており、いじめを許さないという姿勢を感じました。調布市の子どもたちがそのように思って生活してほしいと思います。ノートがついており子どもがどんなことを感じ考えたのか家庭でも一緒に話しやすくなると思いました。口下手な子どもでも授業に参加できそうと感じました(いつも同じ子が発言し続ける授業を参観したことがある)
61	道徳			子どもに心や態度を自己評価させるような教科書が増えているが、これほどまでに必要だろうか。押しつけにしないでほしい。
62	道徳		光村図書	他の教科でもいえるが教材そのものよりも授業の進め方のマニュアルが多く、一定の方向に生徒を誘導していく意図が感じられる。道徳や価値観は、体験やすぐれた作品にふれて形成されていくもので教科として教えこまれるものではない
63	道徳		日本教科書	34「くちなしの花と南十字星が指した道～花田ミキ～は従軍看護婦として戦地に行き、負傷兵の手当てをするなど苦勞した話だが、戦争を賛美していざというときにはがんばることを推奨しているように思う。「日本教科書」は1～2年のも含め苦しくてもがんばることそして成功したスポーツ選手などを例にあげ生き方を模索している子どもたちを追いつめる傾向が強い。教科書として採択してほしくない。
64	道徳		全社	・道徳はどの教科書も心や態度を自己評価させる欄があり、徳目の押しつけにならないか本根を言えない子どもを育てることにならないか…と心配しています。戦前の修身が軍国少年軍国少女を育ててしまったことを反省し、戦後はなくなっていた「道徳」が”教科”として復活したことが大きな問題です。「特別の教科道徳」をなくしてほしいです。 ・また検定制度も教育の自由を奪うことにつながります。教科書検定制度の見直しも考えてほしい。